

急な大雨・竜巻・雷から身を守るために

岡山県教育庁保健体育課

近年、「急な大雨」「竜巻」「雷」等により全国で多くの被害が発生しています。これらの、積乱雲に伴う激しい現象は、短い時間で局地的に大きな被害をもたらすのが特徴です。

また、発生する場所や時刻を特定して予測するのは困難な現象であり、学校では落雷や竜巻などの突風、急な大雨の危険性を認識し、安全を第一に考えた迅速な対応が必要です。

教職員、児童生徒が、自分の身を自分で守るための正しい知識や行動を身につけ、被害を最小限に抑えるための取組をお願いします。

1 気象情報の把握等と対応

気象情報の把握

○天気予報・・・以下のキーワードに注意

「雷を伴う」「大気の状態が不安定」「天気が急に変わる」

○雷注意報・・・落雷等により被害が予想される場合

○竜巻注意情報・・・竜巻の発生しやすい気象状況となっている場合

○ナウキャスト(降水・竜巻発生確度・雷)・・・危険な地域と今後の予想を表示

PC <http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

携帯 http://www.jma.go.jp/jp/bosai_joho/m/radnowc/

周囲の様子に注意を払う（急な大雨・竜巻・雷の予兆）

○真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。

○ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。

○雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。

○大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

対応

○テレビ、インターネット等で最新の気象情報の把握に努める。

○竜巻注意情報等が発表された場合には、校内放送等で教職員・児童生徒へ注意を促す。

○予兆を確認した場合は、職員室内で警戒体制をとり、空を注視したり、竜巻等が発生した場合の対応の準備をするなど複数の教員で対応に当たる。
また、安全確保に努めるように校内放送等で教職員・児童生徒へ呼びかける。

2 急な大雨への対応

- 激しい雨の中を無理して歩かず、頑丈な建物など安全な場所へ避難する。
- 河川や用水は、ごく短時間のうちに水かさが増す危険性があるため、すぐに水辺から離れ、絶対に近づかない。
- 浸水・冠水している場所には、絶対近づかない。
- 激しい雨や浸水により、道路や用水の位置が確認できない場合は、無理な行動はしない。（外出が危険な場合は、2階以上のできるだけ高いところへ移動する。浸水・冠水しているにもかかわらず、自宅等から、無理に避難場所へ避難しようとして、流水に巻き込まれたり、用水に転落して被災した事例もある）
- 地下室や地下街は水が流れ込むおそれがある。すぐに地上へ移動する。

3 竜巻への対応

3-① 学校にいて竜巻が接近してきたら

教室にいるとき

- 窓をしめ、カーテンを引く。
- 窓ガラスからできるだけ離れる。
- 身の回りにあるもので頭を守る姿勢をとる。
(机の下にかくれる、しゃがんでカバン等で頭を守る等)

教室以外の校舎内にいるとき

- ガラスが飛んでくるのを避けられる場所に身を寄せる。
- 壁に近いところでしゃがみ、頭を守る姿勢をとる。

運動場などの屋外にいるとき

- 校舎など頑丈な建物に避難する。
- 物置やプレハブなどの簡易な建物には避難しない。

竜巻が近づく際の特徴

- 「ゴー」という音がする。
- 雲の底から地上に伸びる「ろうと状の雲」が見える。
- トタンや発泡スチロールなど色々なゴミが宙を舞っている。
- 気圧の変化で耳に異常を感じる。

3-② 登下校中に竜巻が接近してきたら

- 屋根瓦など、飛ばされてくるものに注意する。
- 近くの頑丈な建物に避難する。建物に避難できない場合には、頑丈な構造物の物陰やくぼみなどに身をふせる。
- 電柱や太い樹木も倒壊する危険があるので近寄らない。

3-③ 家にいて竜巻が接近してきたら

- 窓や雨戸をしめ、カーテンを引く。
- 窓から離れ、身の回りにあるものでガラスの破片などから身を守る。
- トイレや階段、風呂場など壁に囲まれた狭い場所で身をふせ、頭を守る。
- 2階から1階に降りる。
- 竜巻が来る前に避難できるなら、家より頑丈な建物に避難する。

4 雷への対応

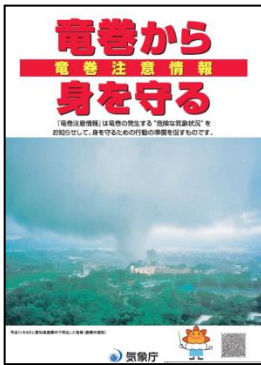
- 雷鳴が遠くても雷雲はすぐ近づいてくるので、部活動など屋外活動をしている場合、速やかに屋内に避難する。
- 雷は短時間で収まることが多いので屋内の安全な場所で待機する。
無理に帰宅しない。
- 雷は高い場所に落ちやすい。立ち木に落ちると被害を受けるので、立ち木から離れたところに避難する。木の下での雨宿りは厳禁。
- 近くに避難する場所がない場合は、低い場所を探してしゃがむなどできるだけ姿勢を低くする。
- 自転車に乗っていたら、すぐに降りて安全な場所に避難する。

5 活用資料

○気象庁ホームページ「天気の急変から身を守るために」

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tenki_chuui/tenki_chuui_p1.html

気象庁作成リーフレット HPからダウンロードし、配付資料として活用してください。



○DVD

・「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう」(H25 気象庁作成) 全小学校配布

気象庁HPからも視聴可能 (http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/cb_saigai_dvd/index.html)